

**虚偽の婚姻・養子縁組届出事件
(新聞等での報道分)**

番号	事 件 の 概 要
1	札幌市で、虚偽の養子縁組をした男性2人（養親と養子）が、電磁的公正証書原本不実記録などの疑いで逮捕された。養子の男性は、消費者金融から約200万円の借金があったが、知人から「名字を変えればまた金を借りられる」と持ちかけられ、養子縁組後、50万円を新たに借金していた。別件で逮捕された養親の男性の戸籍に、20歳代から30歳代の4人が相次いで養子縁組していたことから発覚した。（平成17年8月報道）
2	インターネットのチャットで知り合った無職の少女を3か月以上にわたって東京都足立区の自宅マンション等に監禁していた男性が、監禁容疑で逮捕された。男性は、無断で札幌市の男性と養子縁組を行い、姓を変えていた。（平成17年5月報道）
3	借金を重ねて融資を受けられない多重債務者が、偽装婚姻で姓を変え、別人になりすまして借金をするという事件で、偽装の指示をしたとして広島県の暴力団組員らが逮捕された。（平成17年5月報道）
4	松山市在住の70歳代の女性が、知らないうちに4人の男性と養子縁組手続をされ、4人の男性の名前で国民健康保険証の交付手続が行われ、このうち男性の方も養子縁組を知らなかったことが確認されたケースにつき、松山市が国民健康保険証詐取で被害届を提出した。（平成17年6月報道）
5	福島県で、虚偽の養子縁組届を提出したとして、5人の男性が、電磁的公正証書原本不実記録などの疑いで逮捕された。5人の男性は、多重債務者でブラックリストに載ったことから、偽造した養子縁組届を提出して姓を変え、別人になりすまして金融業者をだまして借金をしていたとみられる。（平成16年10月報道）
6	千葉市内の不動産業者らが、架空の養子縁組によって多重債務者の名前を変えて住宅ローンを組ませ、金融機関から約20件、総額約6億円をだまし取っていた疑いがあるとして、公正証書原本不実記載などの疑いで逮捕された。（平成16年9月報道）
7	仙台市や周辺の市役所で、消費者金融から金をだまし取る際、架空名義の運転免許証が必要であると考え、虚偽の婚姻届を提出して、別人になりすまし運転免許証を取得していたとして有印私文書偽造などの罪に問われた被告の初公判が仙台地裁であり、被告は起訴事実を全面的に認めた。（平成14年7月報道）